

広報やいた City of Yaita Public Relations

平成28年度 予算特集号

もくじ

矢板市の今年度予算について……………	2 - 3
平成27年度補正予算に伴う地方創生加速化交付金事業…	4 - 5
平成28年度新規事業……………	6 - 7
第1章 いつまでも健康でいきいきしているまちづくり…	8 - 11
第2章 一人ひとりの笑顔が輝くまちづくり……………	12 - 13
第3章 豊かな自然を大切にすまちづくり……………	14 - 15

第4章 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり……………	16 - 17
第5章 活力と活気にあふれるまちづくり……………	18 - 19
第6章 市民と行政が一体となったまちづくり……………	20
第7章 行財政基盤の安定したまちづくり……………	20
矢板市の財政状況について……………	21 - 23

市民の皆さんへ



平成 28 年度の日本経済は、海外景気の下振れにより、景気が下押しされるリスクに留意する必要があるものの、各種政策の効果による雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかに景気が回復していくものと見込まれています。

このような中で、矢板市の財政は、平成 26 年度決算において、歳入の根幹である市税収入は 7 年ぶりに増加に転じましたが、ピーク時の平成 19 年度と比較して約 12 億円減少するなど、自主財源を確保することが難しい状況が続いています。一方、歳出においては、福祉関係の扶助費、介護保険や国民健康保険への繰出金が増加を続けている状況であるため、柔軟性に欠いた財政運営になっています。

しかしながら、平成 28 年度は、市政運営の指針であ

る「第 2 次 21 世紀矢板市総合計画」の「後期基本計画」の初年度であり、「矢板市まち・ひと・しごと創生総合戦略」も本格的にスタートする年になります。

財政環境の先行きを見通すことが難しい中であっても、総合計画の 5 つの重点計画、総合戦略の 4 つの基本目標に取り組みながら、新たな行政課題についても施策の優先順位を見極めつつ、的確に対応していく必要があります。そのため、歳入・歳出全般にわたり徹底した見直しを行い、必要な財源を確保しながら財源の重点的・効率的な配分に徹する方針で予算の編成を行ってまいりました。

この予算特集号は、市の財政状況や予算がどのように使われているのかを、総合計画の分野別計画の 7 項目に分け、わかりやすく表現することを心掛け作成しました。市の財政状況や事業をお知らせすることは、市民と行政が協働したまちづくりを進めていくために、とても大切なことであると考えています。

市民の皆さんが、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

矢板市長 遠藤 忠

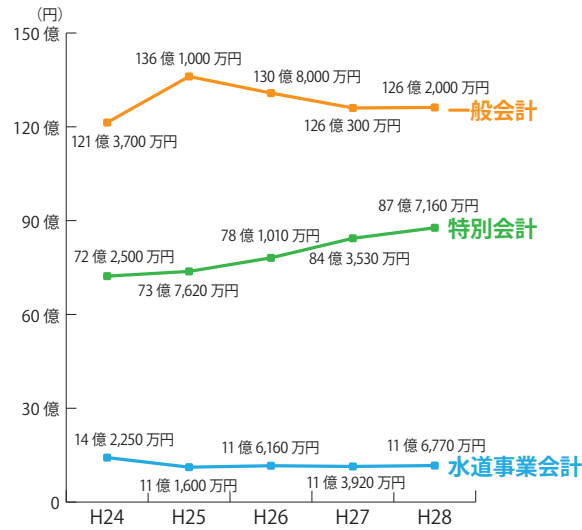
矢板市の今年度予算

126 億 2,000 万円（一般会計）

会計別予算額

区分	平成 28 年度 A	平成 27 年度 B	増減額 A-B	伸び率 %	
一般会計	126 億 2,000 万円	126 億 300 万円	1,700 万円	0.1%	
特別会計	介護保険	27 億 9,520 万円	24 億 7,480 万円	3 億 2,040 万円	12.9%
	国民健康保険	45 億 1,980 万円	44 億 8,270 万円	3,710 万円	0.8%
	後期高齢者医療	3 億 3,320 万円	3 億 3,620 万円	△ 300 万円	△ 0.9%
	農業集落排水事業	5,680 万円	5,500 万円	180 万円	3.3%
	公共下水道事業	8 億 5,160 万円	8 億 7,580 万円	△ 2,420 万円	△ 2.8%
	コロナ矢板排水処理事業	1,730 万円	1,760 万円	△ 30 万円	△ 1.7%
	木幡宅地造成事業	1 億 9,770 万円	1 億 9,320 万円	450 万円	2.3%
	小計	87 億 7,160 万円	84 億 3,530 万円	3 億 3,630 万円	4.0%
水道事業会計	11 億 6,770 万円	11 億 3,920 万円	2,850 万円	2.5%	
合計	225 億 5,930 万円	221 億 7,750 万円	3 億 8,180 万円	1.7%	

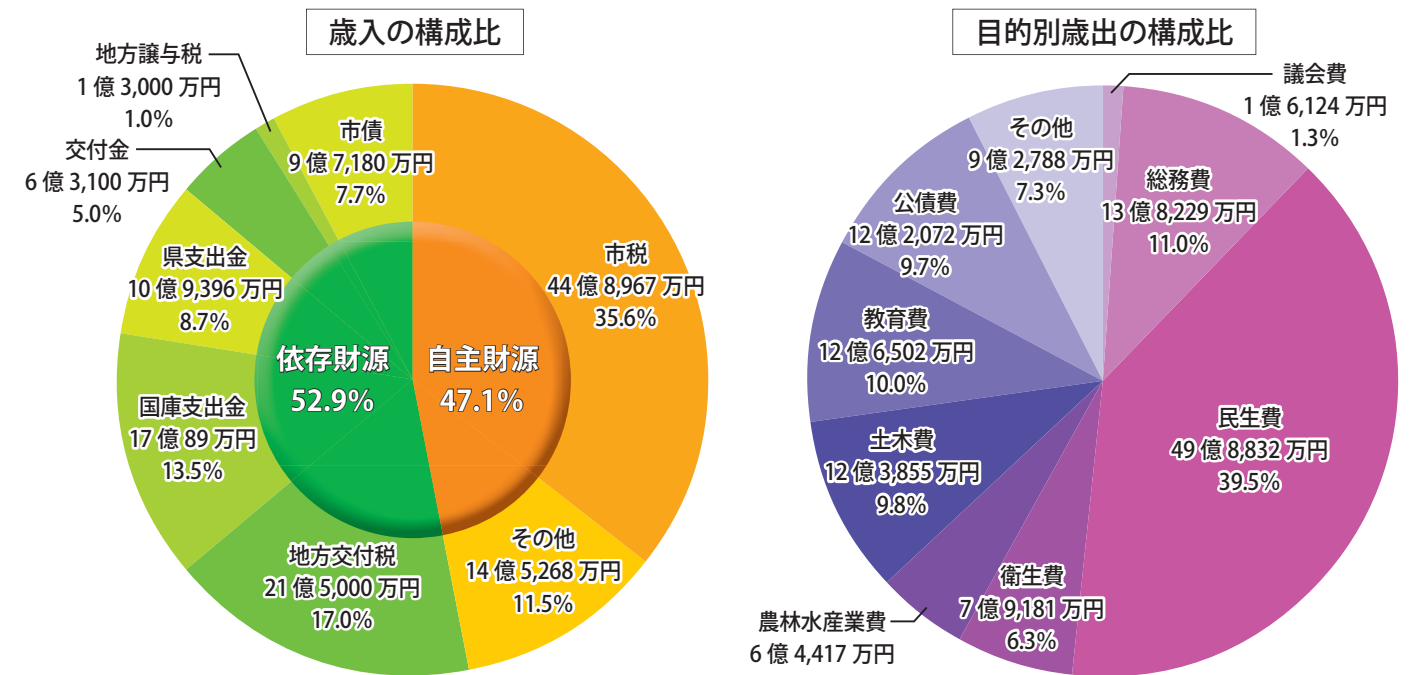
当初予算の推移



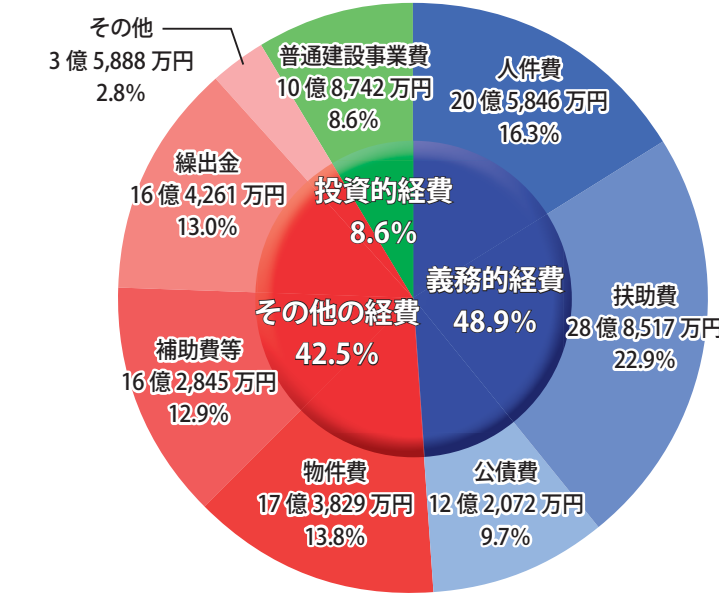
一般会計…市の基本となる会計

特別会計…特定の歳入を特定の事業に充て、一般会計と区別して経理する会計

予算の各構成比



性質別歳出の構成比



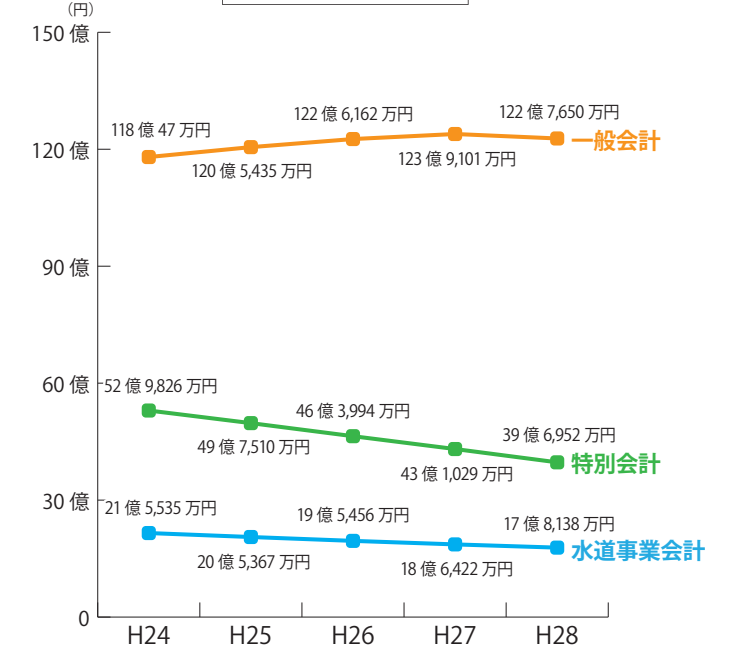
【歳入】

市税のうち、固定資産税は新築家屋や償却資産の増加が見込まれますが、個人市民税及び法人市民税は人口減少や一部業種の不振などの影響により、減少する見込みです。

市税は、平成 19 年度をピークに減少を続け、ピーク時と比較すると 11 億 6,000 万円も減少しているため、一般財源の確保が難しい状況が続いています。

※用語解説は、21 ページをご覧ください。

市債残高の推移



【歳出】

民生費は、障害者自立支援事業などの扶助費、介護保険や国民健康保険特別会計への繰出金の増加などにより、4 億 4,700 万円増加し、予算総額の約 4 割を占めている状況です。

投資的経費のうち補助事業費は、片岡地区市街地整備事業や造成宅地滑動崩落緊急対策事業などが減少したことにより、2 億 7,800 万円の減となりましたが、単独事業費は、城の湯温泉センター施設改修事業の増加により、2 億 4,300 万円の増となっています。



スポーツと プラス *a* の価値を創造!

矢板市は、豊かな自然と優れた交通アクセスを持ち、県都宇都宮市と全国的に有名な観光地「日光・那須」の中間に位置するものの、観光資源がやや劣る地域であることから「通過点」とされてきました。

しかし、従来から矢板市を通過する人が多いこと、そして、矢板市にはサッカーやゴルフ、テニス、オリエンテーリング、自転車、そのほかにも豊かな自然や地形を利用したアウトドア系の多彩なスポーツ資源があります。

このことから、東京圏からの旅行者を顧客ターゲットとして、スポーツに特化した観光スタイルを提供することで、矢板市を「通過点」ではなく「目的地」とする動機をつくり、交流人口の増加を図る取り組みが、矢板市独自のスポーツツーリズム、通称「&スポーツ」です。

具体的な事業としては、まず、官民協働による「スポーツツーリズム推進協議会」を設立し、この組織が主体となって、各分野の連携や、プロモーション活動などに取り組んでいきます。

また、スポーツ交流の拠点づくりとして「(仮称)とちぎフットボールセンター」を中心に、「城の湯温泉センター」や「こどものひろば」などと連携することで、施設間の利用者増などの相乗効果を図ります。

これらの事業により、市内の企業や団体、住民、行政など各分野が連携して取り組み、市外から人を呼び寄せ、それにより雇用を生み出すことで、「スポーツツーリズム」を矢板市の成長産業にしていきます。スポーツを核とした矢板創生の取り組みが、平成 28 年度からスタートします。

TOPICS

異業種間の連携!

スポーツ関係団体、観光、施設関係者、農業、飲食店、医療など、さまざまな業種が連携して、利用者ニーズに対応したサービスを提供していきます。

TOPICS

効果的な PR を行う!

ホームページや SNS、ラジオ番組や情報誌、動画など、ターゲットや利用者のニーズにあわせ、1 人でも多くの方に興味を持っていただけるような PR を行っていきます。

TOPICS

農林業との連携!

スポーツ愛好家が求めると言われる自然回帰志向や健康志向。特に、スポーツから見た「食」の観点から、市の基幹産業である農業と連携を図り、地元産食材を安定供給することができるよう、農産物の生産強化に取り組めます。

TOPICS

市内拠点を回遊する!

温泉、飲食店、宿泊施設、スポーツ施設、市内にあるさまざまな拠点施設をぐるっと回遊していただけるようなクーポンの発行やスタンプラリーなどを検討していきます。

TOPICS

スポーツで雇用創出!

スポーツを核とした異業種間の連携により、新たな産業を生み出すことで雇用の創出を図ります。

通過する「矢板」から
目的地・滞在地「矢板」へ

平成 26 年栃木県観光客入込数

日光市	1074.5 万人
那須塩原市	986.5 万人
那須町	470.7 万人
矢板市	145.9 万人

TOPICS

施設のさらなる充実!

さまざまな観光スタイルに対応できるように、温泉施設やこどものひろばなど、既存施設の機能を強化し、施設間連携を図ります。

Question

最近、よく聞く言葉
スポーツツーリズム
っていったい何?

Answers

観光庁が提唱する「豊かな観光スタイルの創造」を目指し、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや、周辺観光地への観光、また、地域のスポーツを支える人との交流、旅行先で気軽にスポーツを体験できるような環境の整備をすることです。

Question

なぜ矢板で
スポーツツーリズム
なの?

Answers

矢板市には、優れた交通アクセスと、豊かな自然の中で行われるさまざまなスポーツ資源があります。これを矢板市独自の強みとしてとらえ、スポーツツーリズムを矢板市の新たな魅力として提案することで、交流人口の増加につなげます。

Question

何を目的として
スポーツツーリズム
に取り組んでいくの?

Answers

第一には、スポーツで矢板市に新たな人を呼び込むことによる地域活性化を目的としています。また、スポーツツーリズムによる事業展開により、子育てや農産物のブランド化など、さまざまな政策を連携させることで相乗効果を生み出し、それぞれの政策課題を解決へと導いていきます。

	事業名	担当課	内容	事業費
矢板市・単独事業	矢板時間配信事業	秘書広報課	FM 栃木番組放送サービス FM 栃木の番組放送を活用し、矢板市の魅力を発信します。	600万円
	シティプロモーション事業		矢板市 PR 動画作成 矢板市の PR 動画を 2 本作成し、矢板市の魅力を発信します。	100万円
	温泉センター施設運営事業	社会福祉課	トレーニングマシン 25 種類、補助器具 13 種類等購入 健康増進施設に改修する 2 号館にトレーニングマシン 25 種類、補助器具 13 種類を整備します。	4,738万円
	子育て支援事業	子ども課	「こどものひろば」運営委託 ココマチにある「こどものひろば」の運営を行います。	810万円
	勤労者対策事業	商工 林業観光課	市内企業就職サポート事業 新卒の高校生、大学生を対象に、矢板市で企業説明会を開催します。	442万円
	スポーツツーリズム推進事業		スポーツ施設マーケティング戦略 アクションプラン作成業務 スポーツを通じた交流人口の増加を図るため、宿泊、飲食、交通事業者を含めた観光商品を開発するために、調査・検討します。	485万円
広域連携事業	シティプロモーション事業	秘書広報課	ツール・ド・とちぎ開催負担金 世界的に有名な一流レーサーやプロを招いて、3 日間に渡り行われる自転車レース「ツール・ド・とちぎ」の開催負担金です。 矢板市はスタート地点に選ばれています。	120万円
	木材販路拡大事業	商工 林業観光課	とちぎ材販路拡大事業 とちぎ材の販路拡大を目的として、雑誌タイアップ、市場調査、マーケティング戦略構築を行います。	410万円

平成 28 年度は、矢板市が将来にわたって活力あるまちとして発展し続けるために、教育、福祉、医療をはじめ、生活の利便性や働く場所の確保など、さまざまな施策を行い、「矢板で子育てを、矢板に来て子育てをするまちづくり」が具現化できるよう取り組んでいきます。

既存施設である城の温泉センターを有効に活用し、市民の健康を保持・増進させるために、改修工事に取り組みます。

また、観光や産業の活性化を図るため、矢板北 PA のスマート IC 整備に向けて、取り組みます。

温泉センター施設改修事業

社会福祉課

2 億 9,340 万円

国	—	県	—
般	7,590万円	他	2億1,750万円

温泉センター改修、駐車場・グラウンドゴルフ場整備

1号館に入浴施設を集約し、2号館にはトレーニングマシンを備えたトレーニングルームやスタジオを整備します。また、温泉センター北側のふれあい館周辺に駐車場（78台分）とグラウンドゴルフ場（3,837㎡）を整備し、温泉センターを核とした健康増進施設に改修します。



スマート IC 整備事業

都市建設課

3,700 万円

国	—	県	—
般	—	他	3,700万円

路線測量、地質・用地調査、道路・橋りょう予備設計

矢板北 PA に設置することで、NEXCO 等関係機関と協議中です。

平成 28 年度は、整備予定区間の路線測量や用地調査、道路・橋りょう予備設計等を行い、平成 29 年度以降の用地買収や工事実施に向けて取り組みます。



小中一貫教育推進事業

教育総務課

363 万円

国	—	県	—
般	363万円	他	—

泉地区特色ある教育の推進

泉地区の小中一貫教育推進事業として、教科指導の強化、特に英語・数学（算数）に力を入れていきます。

また、土曜日にも学習教室を開催し、学力向上を図り、なお一層の特色ある教育活動を推進します。



事業名	担当課	内容	事業費
企画調整事業	総合政策課	地域おこし協力隊（3人募集） 矢板市に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなど、地域おこしの支援などを行います。 スポーツツーリズムの推進・中山間地域（泉）の活性化など	922万円
			国 — 県 — 般 922万円 他 —
子育て支援事業	子ども課	結婚支援事業補助 結婚に関する相談や助言、および婚活イベントや婚活セミナーなどを行っている「やいた未来クラブ」への補助を行います。	10万円
			国 — 県 — 般 10万円 他 —
学童保育館活動支援事業	子ども課	住民税非課税世帯等利用料補助 経済的負担を軽減するために、対象家庭の学童保育館利用料を半額、または全額免除し、学童保育館の運営事業者に減額分の補助を行います。 住民税非課税世帯・児童扶養手当受給世帯：半額、生活保護世帯：全額	210万円
			国 — 県 — 般 210万円 他 —
児童館等建設事業	子ども課	民間学童保育館建設補助 民間事業者の学童保育館建設に対し、補助を行います。	2,440万円
			国 — 県 1,620万円 般 820万円 他 —
農業振興事業	農業振興課	園芸作物振興支援事業補助 キクやリンドウなどの花き、主要園芸5品目（イチゴ、春菊、トマト、うど、ネギ）に新たに取り組む農業者、または規模拡大を図る農業者に対し、機械や設備の導入経費の補助を行います。 補助率：1/2 上限 100万円	800万円
			国 — 県 — 般 800万円 他 —
県単農道整備事業	農業振興課	立足地区（舗装L=400m）、石関地区（舗装L=1,050m） 農業経営の合理化、農作業の効率化を図るため、立足地区・石関地区の農道舗装を行います。 補助率：県 30%	3,170万円
			市 1,930万円 県 921万円 般 319万円 他 —
森林環境整備事業	商工 林業観光課	木の駅プロジェクト補助 山林内の未利用材をバイオマスエネルギーとして利用する仕組みを構築し、森林所有者による搬出の取り組み意欲を促進します。また、間伐推進と間伐材の有効利用により、地域の林業・木材産業の活性化、および地域通貨の流通により商業の活性化を図ります。出荷見込：500トン	50万円
			国 — 県 — 般 50万円 他 —
商業等活性化支援事業	商工 林業観光課	空き店舗対策事業支援補助・創業塾支援補助 【空き店舗】まちなかの活性化を図るため、空き店舗を活用し開業するための支援として、補助を行います。上限 100万円 【創業塾】起業を目指す方に、開業から運営までのノウハウを指導するための塾の運営支援として、補助を行います。	130万円
			国 — 県 — 般 130万円 他 —
観光 PR 事業	商工 林業観光課	泉交流協議会運営補助 八方ヶ原や泉民の森、りんご園など泉地区の観光拠点、および特産品のPRをはじめ、八方ヶ原のツツジなど自然保護活動を行います。	30万円
			国 — 県 — 般 30万円 他 —
橋りょう維持事業	都市建設課	橋りょう補修工事（2橋） 老朽化し、改修工が必要な2橋（泉地内の鹿島橋・上町地内の八戸橋）を実施します。	3,800万円
			国 2,090万円 県 — 般 210万円 他 1,500万円
片岡地区市街地整備事業	都市建設課	片岡駅西トイレ整備工事 平成 28 年度は、片岡駅西トイレの整備を行います。	3,618万円
			国 1,521万円 県 — 般 977万円 他 1,120万円
市営住宅整備事業	都市建設課	長寿化改修工事（中市営住宅 4・5号棟、石関市営住宅 3号棟） 老朽化した中層住宅を順次改修します。 平成 28 年度は、中市営住宅 4・5号棟、石関市営住宅 3号棟	9,200万円
			国 4,250万円 県 — 般 — 他 4,950万円
教職員研修事業	教育総務課	塾との連携学習支援・教育先進地視察 【学習支援】学力向上のため、矢板・片岡公民館で年 20 回、塾講師による学習支援を行います。 【先進地視察】教師の授業力向上のため、学力向上先進地を視察。また、先進地から講師を招き、教職員の研修会を実施します。	130万円
			国 — 県 — 般 130万円 他 —
介護予防 一般高齢者施策事業費	高齢対策課	やいた元気シニア地域活動応援ポイント事業 矢板市シニアボランティアセンターに登録した方が、市が認めるボランティア活動や生きがいづくり活動に参加した場合、その実績に応じて交換品と交換できるポイントを付与します。	500万円
			国 125万円 県 62万円 般 — 他 313万円



矢板市では、次世代を担う子どもたちを社会全体で大切に育てるまちづくりを目指し、取り組んでいます。

仕事と育児の両立を支援するファミリーサポートセンターや、18歳までのお子さん・妊産婦への医療費助成、子育て世代に対する各種相談業務や保健師等の訪問、保育所・園への助成など、医療・保育・教育環境の充実に努めています。

子ども予防接種事業

子ども課

6,396 万円

国	—	県	—
般	6,396 万円	他	—

子どもの定期予防接種の実施や、任意予防接種のうち、ロタとインフルエンザ（中3・高3）の予防接種費用を助成します。

予防接種の種類

定期予防接種	ヒブ、小児用肺炎球菌 四種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ） ポリオ、BCG 麻しん風しん混合（MR） 水痘、日本脳炎 二種混合（ジフテリア、破傷風） 子宮頸がん
任意予防接種 (公費負担しているもの)	ロタ インフルエンザ（中3、高3）

子育て支援事業

子ども課

1,073 万円

国	—	県	169 万円
般	904 万円	他	—

家庭相談員・育児支援家庭訪問支援員が、子育ての不安・悩みの軽減を図るため、家庭における適度な児童養育の相談・指導などを行い、援護を必要とする子どもと家庭への支援を行います。また、児童健全育成を図るため、「こどものひろば」の管理やブックスタート（10カ月児を対象とした絵本の配布）等を行います。



ココマチ・こどものひろば

子育て支援医療費助成事業

子ども課

1 億 1,325 万円

国	—	県	4,351 万円
般	6,974 万円	他	—

健康増進と疾患の早期発見を目的として、18歳までの子どもと妊産婦を対象に、保険診療分の一部負担金を助成します。

過去5カ年の助成実績

●こども医療費

	H22	H23	H24	H25	H26
助成件数 (件)	30,778	31,614	38,228	42,739	42,338
助成額 (円)	59,420,617	59,457,040	71,818,389	89,065,104	93,021,942

●妊産婦医療費

	H22	H23	H24	H25	H26
助成件数 (件)	1,188	1,325	1,307	1,356	1,478
助成額 (円)	5,585,040	6,940,420	7,628,960	7,627,160	7,715,350

事業名	担当課	内容	事業費
母子保健事業	子ども課	3カ月児健診や4カ月児健診などのほか、妊婦健康診査費の助成や少子化対策として不妊治療費を助成します。	3,563 万円 国 26 万円 県 99 万円 般 3,438 万円 他 —
ひとり親家庭医療費助成事業		市内在住で、満18歳に達した年度末までの子どもを養育するひとり親家庭を対象に、保険診療分の一部負担金を助成することで、健康の向上に寄与し、経済的負担の軽減を図ります。	1,462 万円 国 — 県 653 万円 般 809 万円 他 —
母子福祉事業		母子・父子自立支援員がひとり親家庭の父母の就業、資格取得の支援などの相談・指導を行い、生活の安定を支援します。	999 万円 国 414 万円 県 123 万円 般 462 万円 他 —
子育て支援給付事業 (やいたみらいっ子誕生祝金)		第二子以降の誕生に、祝い金3万円を支給することで、少子化対策と児童の健全な育成を図ります。	390 万円 国 — 県 — 般 390 万円 他 —
子育て短期支援事業		保護者が疾病などにより、児童の養育が一時的に困難になった場合に、児童養護施設などで短期間お預かりすることで、子どもと家族への支援を行います。	10 万円 国 — 県 3 万円 般 2 万円 他 5 万円
施設型等給付費		子どもたちがより質の高い教育・保育が受けられるよう、幼稚園や保育園などに対し、給付費を支給します。	7億7,535 万円 国 2億7,874 万円 県 1億4,387 万円 般 2億5,445 万円 他 9,829 万円
民間保育所運営補助事業		民間保育所へ延長保育、一時保育、病後児保育などの特別保育事業にかかる補助をします。	7,634 万円 国 — 県 3,204 万円 般 4,406 万円 他 24 万円
公立保育所施設運営事業		市内の公立保育所（泉）の保育業務と施設管理を行います。	3,038 万円 国 — 県 50 万円 般 2,191 万円 他 797 万円
幼稚園振興事業		幼児教育の振興や保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園の設置者と園児の保護者に各種補助金を交付します。	4,061 万円 国 471 万円 県 704 万円 般 2,886 万円 他 —
児童館活動支援事業		健全な遊びを通して子どもの健康を増進し、心を豊かにすることを目的として、公設児童館（矢板・東）と民設児童館（かたおか）の活動支援を行います。	2,600 万円 国 — 県 — 般 2,585 万円 他 15 万円
学童保育館活動支援事業		放課後、家庭での保育が困難な児童に、健全な遊びと学習の場を提供する公設学童保育館（矢板・矢板東第二・東・川崎・泉・安沢）と民設学童保育館の運営を行います。	2,236 万円 国 — 県 1,470 万円 般 766 万円 他 —
ファミリーサポートセンター事業		「子育ての支援をしてほしい人」（依頼会員）と「子育ての手助けをしたい人」（提供会員）がそれぞれ会員となり、お互いに助け合いながら、地域で子育ての支援を行います。	233 万円 国 — 県 133 万円 般 100 万円 他 —
子育て支援センター事業		泉保育所において、育児不安についての相談や指導、子育てサークル等の育成支援を行います。	29 万円 国 — 県 — 般 29 万円 他 —
児童手当支給事業		義務教育終了前の児童を養育する家庭における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、手当を支給します。	5億3,000 万円 国 3億6,675 万円 県 8,162 万円 般 8,163 万円 他 —
児童扶養手当支給事業	父母の離婚等で、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として、父母等に手当を支給します。	1億3,973 万円 国 4,636 万円 県 32 万円 般 9,305 万円 他 —	



市民が心豊かに日々の暮らしを送るために、住む場所と働く機会が確保されているだけでなく、生涯を健康で、生きがいを持って暮らすことのできる社会づくりに取り組みます。
また、行政区などの枠組みにとらわれず、世代を超えた連携やお互いに助け合える社会づくりに取り組みます。

健康増進事業

4,949 万円

国	—	県	277万円
般	4,665万円	他	7万円

生活習慣病の予防のため、各種がん検診、地域における各種健康教室、運動教室、自殺予防対策のための心の健康相談などを実施します。



健康増進課

障がい者総合支援事業

5 億 475 万円

国	2億4,382万円	県	1億2,201万円
般	1億3,892万円	他	—

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス、障がい児通所給付、地域生活支援事業等に要する経費です。

障がい福祉サービスの種類

介護給付	生活する際の介護が必要な人などが使います。
訓練等給付	働くための訓練をする人などが使います。
地域生活支援事業	市町村が地域の状況にあわせて実施するサービスです。
障がい児のサービス	障がい児（18歳未満の方）が受けられるサービスです。

社会福祉課

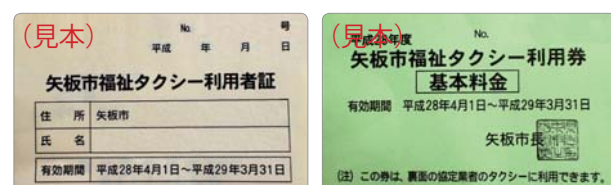
障がい者福祉タクシー事業

1,022 万円

国	—	県	—
般	1,022万円	他	—

利用対象者の社会生活への進出を図るため、タクシーの基本料金を助成するタクシー券（障がい者月4枚、高齢者月2枚）を交付し、外出時の負担を軽減します。

平成28年度から、乗車料金が基本料金の2倍以上（1,460円相当分以上）となった場合は、利用券を2枚使用できます。



【福祉タクシー券の交付枚数】

- 障がい者 年間48枚（月4枚で計算）
- 高齢者 年間24枚（月2枚で計算）

社会福祉課

事業名	担当課	内容	事業費
国民健康保険事業		(主な内容) 療養諸費等給付事業 23億5,356万円 高額療養費支給事業 3億822万円 出産育児一時金支給事業 1,680万円 葬祭費支給事業 350万円 後期高齢者支援金等拠出事業 5億4,152万円 介護納付金納付事業 2億47万円 共同事業拠出金等拠出事業 9億9,141万円 保健衛生普及事業 103万円 疾病予防事業 823万円 特定健康診査等事業 2,621万円	45億1,980万円 国 9億7,387万円 県 2億2,266万円 般 9億7,423万円 他 23億4,904万円
後期高齢者医療事業	健康増進課	(主な内容) 後期高齢者医療広域連合納付金 3億1,424万円 後期高齢者健診事業 993万円 一般管理費 253万円	3億3,320万円 国 — 県 — 般 300万円 他 3億3,020万円
成人予防接種事業		成人の各種予防接種として、インフルエンザや高齢者用肺炎球菌ワクチン等の予防接種費用を助成します。	2,173万円 国 — 県 — 般 2,173万円 他 —
地域医療支援事業		救急医療対策、休日当番医、塩谷地区夜間診療室などにかかる経費です。	2,037万円 国 — 県 — 般 2,037万円 他 —
介護保険事業		(主な内容) 施設介護サービス給付費 8億9,000万円 居宅介護サービス給付費 10億円 地域密着型介護サービス給付費 3億8,000万円 居宅介護サービス計画給付費 1億3,500万円 介護予防サービス給付費 3,000万円	26億2,960万円 国 6億627万円 県 3億7,983万円 般 — 他 16億4,350万円
高齢者社会参加促進補助事業	高齢対策課	高齢者の社会参加の促進や超高齢社会の基盤強化を図るため、シニアクラブやシルバー人材センターに補助します。	1,238万円 国 — 県 68万円 般 1,170万円 他 —
包括的支援事業(社会保障充実分)		地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業を行います。	1,886万円 国 735万円 県 368万円 般 — 他 783万円
生活保護者援護事業		生活に困窮する世帯の最低限度の生活を保障するための経済援護を行います。必要な指導や指示を行い、自立した生活を送れるよう相談や助言をします。また、生活に困っている中国残留邦人の方に生活保護に変わる支援給付を行います。	5億5,000万円 国 4億1,205万円 県 2,460万円 般 1億1,335万円 他 —
障がい者給付等支援充実事業		身体障がい者更生医療給付、特定疾患福祉手当給付、重度心身障がい児者介護手当給付、特別障がい者手当等給付を実施し、医療費負担の軽減、経済的援助を行います。	8,533万円 国 3,979万円 県 1,525万円 般 3,029万円 他 —
重度心身障がい者医療費助成事業	社会福祉課	重度心身障がい者が必要とする医療に対し、医療費の本人負担額を支給することで、医療費負担の軽減、経済的援助を行います。	4,512万円 国 — 県 2,243万円 般 2,269万円 他 —
温泉センター施設運営事業		市民に交流と憩いの場を提供し、福祉と健康の増進を図るために、城の湯温泉センターの管理・運営を行います。	3,788万円 国 — 県 — 般 3,709万円 他 79万円
生活困窮者自立支援事業		現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住宅確保給付金の支給等により、生活困窮者の自立の促進を図る事業を行います。	1,816万円 国 1,142万円 県 — 般 674万円 他 —



活力ある矢板市をつくり、維持していくためには、次世代を担う人づくりが不可欠です。子どもたちの生きる力を育むために、一人ひとりの持つ能力や個性を最大限に伸ばすとともに、自ら考え行動できる力を身に付ける教育の充実に努めます。

また、ふるさとに対する誇りや愛着、周囲の人や自然環境に対する思いやりを持って、考え、行動できる人づくりに取り組んでいきます。

特色ある学校づくり推進事業

教育総務課

300万円

国	—	県	—
般	300万円	他	—

花いっぱい運動、表現力の育成など、感性豊かで郷土を愛する児童・生徒の育成を目指し、それぞれの学校や地域の特色を生かした教育活動の展開を行います。



矢板小学校・日本の伝統文化にふれよう（和太鼓教室）

生涯学習機会充実事業

生涯学習課

153万円

国	—	県	—
般	153万円	他	—

ふるさと創年大学などを開催し、学習機会の充実を図るとともに、人材バンクの活用や生涯学習情報誌「まなび」による情報提供を行います。



ふるさと創年大学・開講式、基調講演

矢板市立学校教職員配置事業

教育総務課

7,766万円

国	—	県	—
般	7,766万円	他	—

小・中学校に非常勤教員を配置し、児童・生徒一人ひとりに目の行き届いた教育を実現させ、学習指導の効果を高めます。



矢板小学校・授業の様子

事業名	担当課	内容	事業費
中学生海外派遣事業	教育総務課	中学生が外国の風土や文化について学び、異国の人々との交流等の体験を通して、ふるさとのよさを発見し、国際性豊かな感覚を身に付けるとともに、将来の地域社会の発展に資する人材を育成します。	600万円 国 — 県 — 般 600万円 他 —
外国語指導助手活用事業		小・中学校に外国語指導助手を配置し、外国の文化や外国人とのコミュニケーションに興味を持つ児童・生徒を育てます。	2,000万円 国 — 県 — 般 2,000万円 他 —
小・中学校教育振興事業		小・中学校での授業が、より円滑に実施できるように支援します。また、教育費の経済的負担の軽減を図るため、就学援助などを行います。	8,249万円 国 30万円 県 — 般 8,219万円 他 —
中学校施設大規模改修事業	生涯学習課	老朽化した矢板中学校のトイレを改修するための設計を行います。	500万円 国 — 県 — 般 500万円 他 —
学校支援地域本部事業		学校支援コーディネーターの設置や学校との連携強化など、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを行います。	367万円 国 — 県 39万円 般 328万円 他 —
図書館管理運営事業		図書館の管理・運営委託や修繕を行います。	4,780万円 国 — 県 — 般 4,780万円 他 —
郷土資料館管理・運営事業		郷土の資料を展示する常設展のほか、企画展や各種体験事業を行います。	993万円 国 — 県 — 般 992万円 他 1万円
矢板武記念館管理運営事業		郷土への関心を高めるため、記念館を管理・運営し、公開します。	387万円 国 — 県 — 般 362万円 他 25万円
ともなり文芸祭り運営事業		文芸の振興を目的として「ともなり文芸祭り」を行います。	100万円 国 — 県 — 般 100万円 他 —
市民体育祭開催事業		市民体育祭の開催・運営を行います。夏季大会は11競技の球技を、また秋季大会は陸上競技・レクリエーションを中心に開催します。	200万円 国 — 県 — 般 200万円 他 —
矢板たかはらマラソン大会開催事業		矢板たかはらマラソン大会の開催・運営を行います。H27.11.8の申込者数：2,179人	250万円 国 — 県 — 般 250万円 他 —
成人式開催事業		新成人主体の実行委員会を組織し、自ら企画・運営する成人式を支援します。	58万円 国 — 県 — 般 58万円 他 —
地域コミュニティ推進事業		地域のつながりを取り戻すため、地域コミュニティ活性化プラン作成や地域コミュニティ活動に対し、各種支援を行います。	279万円 国 — 県 — 般 279万円 他 —
地域づくり推進事業	各公民館	地域づくりの支援を目的として、行政区と自治公民館の活動支援や補助を行います。（矢板・泉・片岡の各公民館で実施）	892万円 国 — 県 — 般 892万円 他 —
市民講座推進事業		矢板・泉・片岡の各公民館と農村環境改善センターで市民講座を開設します。	186万円 国 — 県 — 般 186万円 他 —



矢板市では、高原山のふもとに広がる素晴らしい環境を将来の世代に引き継ぐため、市民・事業者・行政が協働し、環境の保全とより良い環境の創造に取り組んでいきます。

水や空気や緑豊かな大地を大切にして、省資源で循環型のまちづくりに取り組んでいきます。

新エネルギー利用促進事業

くらし安全環境課

1,000 万円

国	—	県	—
般	1,000 万円	他	—

住宅用太陽光発電システムを設置する市民の方に、設置費の一部を補助します。

●補助金額
1kW 当たり 3 万円（上限 12 万円）
※シャープ(株)製品を使用した場合は、1kW 当たり 5 万円(上限 20 万円)



住宅用太陽光発電システム・設置イメージ

環境保全事業

くらし安全環境課

118 万円

国	—	県	—
般	118 万円	他	—

「環境文化都市やいた創造会議」による協働プロジェクトの推進や水辺の環境学習、環境人材の育成を行います。



川崎小学校・水生生物調査

エコモデルハウス運営事業

くらし安全環境課

561 万円

国	—	県	—
般	567 万円	他	—

エコモデルハウスの管理・運営を行います。
エコモデルハウスは、全国 20 カ所に設置されており、それぞれの土地に合った環境にやさしい暮らしを提案する施設です。矢板市では、年間を通じて木工教室などの各種イベントを行っており、市内外から来訪される方々の交流の場となっています。



エコモデルハウス

事業名	担当課	内容	事業費
廃棄物対策事業	くらし安全環境課	廃棄物監視員による不法投棄の監視やポイ捨て等により散乱しているゴミの回収を行います。	544万円 国 — 県 180万円 般 364万円 他 —
公害対策事業		河川の水質調査や事業所排水の検査、自動車騒音などの測定を行い、環境への影響を監視します。	388万円 国 — 県 — 般 386万円 他 2万円
ごみ減量・資源化事業		資源ごみ回収団体への報奨金交付や、廃食用油、食品トレイ、発泡スチロールなどの回収を行います。	223万円 国 — 県 — 般 — 他 223万円
塩谷広域塵芥処理事業		塩谷広域環境衛生センターの運営・維持管理に要する経費や焼却灰溶融処理委託など、ごみの処理費用のうち、矢板市負担分を支出します。	1億3,149万円 国 — 県 — 般 1億3,149万円 他 —
ごみ収集事業	上下水道事務所	一般家庭から排出されるごみの収集運搬（可燃、不燃、資源物）と可燃ごみ用指定袋を作成します。	7,734万円 国 — 県 — 般 2,718万円 他 5,016万円
水道施設整備事業		各家庭に水を送るための水道管を敷設したり、水源施設を整備します。	2億3,890万円 企業債 1億円 他 2,300万円 自己財源 1億1,590万円
管路維持管理事業		各家庭に水を送るために使っている水道管が壊れたときに、修理します。	1億 299万円 繰入金 1,031万円 自己財源 9,268万円
水源施設維持管理事業		安全でおいしい水が供給できるよう、水源となる施設を管理します。	1億5,140万円 自己財源 1億5,140万円
公共下水道業務管理費	上下水道事務所	下水道使用料、受益者負担金等の徴収事務を適正に行い、公共下水道事業を円滑に運用します。	2,722万円 国 — 市 1,180万円 般 1,542万円 他 —
公共下水道水処理センター管理事業		生活環境の向上や河川等の水質保全のため、家庭等から排出される下水を適切に処理するための水処理センターを管理・運営します。	1億4,541万円 使用料 1億4,541万円
公共下水道水処理センター建設事業		適切な管理・運営のため、老朽化した施設の改修や機械等の更新を行います。	9,630万円 国 5,175万円 市 4,450万円 般 5万円 他 —
公共下水道管渠(下水管)築造事業		衛生的で快適な住環境の向上と河川等の水質保全のため、下水道管の整備や汚水樹設置を行います。	1億6,133万円 国 3,360万円 市 9,070万円 般 3,703万円 他 —
合併処理浄化槽設置補助事業	上下水道事務所	10人槽以下の浄化槽を新たに設置または汲み取りもしくは単独処理浄化槽を廃止し、合併処理浄化槽を設置する市民の方に設置費の一部を補助します。	3,003万円 国 1,000万円 県 330万円 般 1,673万円 他 —
農業集落排水水処理センター管理事業		農村地域の生活環境や河川等の水質保全のため、各家庭等からの下水を適切に処理するため水処理センターを管理・運営します。	1,658万円 使用料 1,378万円 一般財源 280万円
コロナ矢板水処理センター管理事業		コロナ矢板地域の生活環境や河川等の水質保全のため、各家庭等からの下水を適切に処理するため水処理センターを管理・運営します。	1,615万円 使用料 1,375万円 一般財源 240万円



矢板市は、東京圏からのアクセスがよく、JR 東北本線の2つの駅や東北自動車道のインターチェンジ、国道4号など、多くの公共交通機能を有しており、栃木県北部における交通交流拠点となっています。

市民生活と企業活動の利便性向上とともに、近隣市町や東京圏等との交流による市勢発展のため、これらの機能のさらなる充実に取り組んでいきます。

老朽化市営住宅解体撤去事業

都市建設課

1,000 万円

国	—	県	—
般	1,000 万円	他	—

老朽化して使用していない市営住宅を順次解体し、住宅団地内の環境向上を図ります。
平成28年度は、上太田市営住宅を実施します。



上太田市営住宅

高倉通り整備事業

都市建設課

6,383 万円

国	—	県	—
般	6,383 万円	他	—

高倉通りと県道塩谷・喜連川線（鶴ヶ池通り）の交差点改良工事を行います。



高倉通りと鶴ヶ池通りの交差点

市営バス運行事業

総務課

2,552 万円

国	—	県	30 万円
般	2,161 万円	他	361 万円

市民の交通の利便性を図り、生活福祉を向上させるために、市内のバス路線を整備し、3台の市営バスを運行します。

- 1号車：青ライン（泉線・長井線）
- 2号車：緑ライン（片岡線・安沢線）
- 3号車：紫ライン（中央環状線・沢線・塩田線）



市営バス

事業名	担当課	内容	事業費					
都市公園維持管理事業		憩いの場、安らぎの場として、都市公園を安心・安全に利用してもらうため、施設や樹木などの維持管理を行います。	2,822万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>2,771万円</td> <td>他</td> <td>51万円</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	2,771万円	他	51万円					
市営住宅管理事業		市営住宅の入退去等の申請受付、施設等の維持管理業務を行います。	3,177万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>1,050万円</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>—</td> <td>他</td> <td>2,127万円</td> </tr> </table>	国	1,050万円	県	—	般
国	1,050万円	県	—					
般	—	他	2,127万円					
市道維持管理事業	都市建設課	側溝整備や道路施設の清掃、街路樹などの剪定、害虫駆除を行うほか、補修・補強などの改善を行います。	3,180万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>2,680万円</td> <td>他</td> <td>500万円</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	2,680万円	他	500万円					
道路新設改良事業（市内全域）	都市建設課	市道境林・木幡9号線の道路整備工事などを行います。	3,980万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>市</td> <td>2,700万円</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>1,280万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	市	2,700万円	般
国	—	市	2,700万円					
般	1,280万円	他	—					
道路新設改良事業（交付金事業）	都市建設課	道路舗装修繕工事（中・安沢1号線、乙畑・越畑1号線、扇町・荒井1号線）を行います。	3,070万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>1,595万円</td> <td>市</td> <td>1,170万円</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>305万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	1,595万円	市	1,170万円	般
国	1,595万円	市	1,170万円					
般	305万円	他	—					
地域活動推進事業	都市建設課	道路の里親制度（市内にある身近な道路の親がわりになり、美化清掃する活動）の推進や、道路などの修繕整備をしていただける行政区などへ、資材提供などの支援を行います。	220万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>220万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	220万円	他	—					
消防団活動事業	都市建設課	消防団員の報酬や出動旅費、装備品の購入、訓練など消防団の活動に要する経費です。	3,782万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>3,782万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	3,782万円	他	—					
消防施設等整備事業	都市建設課	消防器具置場の建て替え、消防車両の更新など、消防施設を整備します。	4,305万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>市</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>375万円</td> <td>他</td> <td>3,930万円</td> </tr> </table>	国	—	市	—	般
国	—	市	—					
般	375万円	他	3,930万円					
防災活動推進事業	くらし安全環境課	防災行政無線などの防災設備の維持管理、非常食の備蓄などを行います。	1,577万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>1,577万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	1,577万円	他	—					
地域安全活動推進事業	くらし安全環境課	防犯灯の設置と電気料の一部補助や防犯カメラの維持管理を行います。	1,422万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>1,422万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	1,422万円	他	—					
消費者行政対策事業（消費生活センター）	くらし安全環境課	さまざまな消費生活問題の相談や、トラブルに巻き込まれないための正しい消費生活情報を提供するなど、消費生活の向上と安全を推進します。また多重債務者の相談も受け付けます。	284万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>80万円</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>150万円</td> <td>他</td> <td>54万円</td> </tr> </table>	国	—	県	80万円	般
国	—	県	80万円					
般	150万円	他	54万円					
地籍調査事業	農業振興課	土地一筆ごとに所在、地番、地目、境界の調査と土地登記簿に記載された所有者に関する確認を行います。併せて境界の測量や面積の測定を行い、地図と簿冊を作成します。	473万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>172万円</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>291万円</td> <td>他</td> <td>10万円</td> </tr> </table>	国	—	県	172万円	般
国	—	県	172万円					
般	291万円	他	10万円					
バス路線対策事業	総合政策課	矢板駅～新高徳駅間を生活交通路線として、矢板市・日光市・塩谷町の3市町が乗入率により負担金を出し合い、委託バスを運行します。	900万円					
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>—</td> <td>県</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>般</td> <td>900万円</td> <td>他</td> <td>—</td> </tr> </table>	国	—	県	—	般
国	—	県	—					
般	900万円	他	—					



矢板市では、雄大な高原山をはじめとする豊かな自然を愛し、大切に作る心を「環境都市」の基本理念として、新たな時代に即した循環型都市の構築に取り組んでいます。

この豊かな自然環境を資源としてとらえ、矢板市の特色を活かした農林業と商工業の連携強化を図るとともに、積極的な情報発信により、産業のさらなる活性化に取り組んでいきます。

やいたブランド認証事業

53万円

国	—	県	—
般	53万円	他	—

市内にある優れた農林水産物や商品を「やいたブランド」として認証し、また、新たなブランド開発などに関する支援を行うことで、地域経済の活性化と市のイメージアップを図ります。



商工林業観光課

商業等活性化支援事業

1,302万円

国	—	県	—
般	1,302万円	他	—

商店街ににぎわいをつくりだす事業へ補助金を交付し、市内における商業の活性化を図ります。また、後継者育成支援をするための補助金や、地場産業のPRを促進する補助金を交付します。



商工林業観光課

観光PR事業

706万円

国	—	県	—
般	706万円	他	—

冬に行う矢板、片岡駅前イルミネーションや花火大会の運営支援、アンテナショップなどでのイベント実施など、矢板市の魅力を広く内外にPRし、市のイメージアップを図り、交流人口の増加につなげます。



商工林業観光課

事業名	担当課	内容	事業費
中小企業振興資金貸付事業	商工林業観光課	中小企業の育成振興を図るため、運転資金や設備資金を融資します。市内金融機関に資金（原資）を預託し、融資を行います。	2億3,141万円 国 — 県 — 般 131万円 他 2億3,010万円
企業誘致推進事業		企業の立地促進を図るため、企業誘致推進員からの情報収集、企業訪問、企業を対象とした各種イベントにおけるPR活動や企業に対する各種奨励金の交付などを行います。	5,269万円 国 — 県 — 般 5,269万円 他 —
勤労青少年ホーム運営事業		勤労青少年ホームの管理・運営を行います。	1,060万円 国 — 県 — 般 1,060万円 他 —
観光協会活動支援事業		観光客の誘致や市のイメージアップ、商業活性化に向けて、観光協会に活動資金の一部を補助します。	70万円 国 — 県 — 般 70万円 他 —
八方ヶ原交流促進センター管理運営事業		八方ヶ原交流促進センター（山の駅たかはら）の管理・運営を行います。	1,346万円 国 — 県 — 般 1,346万円 他 —
八方ヶ原施設運営事業		八方ヶ原の公衆トイレなどの維持管理を行います。	351万円 国 — 県 — 般 351万円 他 —
森林環境整備事業		弓張市有林などの下刈りやふるさとの森（城の湯温泉センター西側）の下刈りなどを行い、森林の整備と多面的活用を図ります。	1,018万円 国 — 県 306万円 般 712万円 他 —
森林整備地域活動支援推進事業		森林の持つさまざまな機能の持続的発展を図るため、森林境界を明確化する調査や作業道整備などを支援します。	600万円 国 — 県 450万円 般 150万円 他 —
元気な森づくり事業		民家の周辺に残る里山林を整備し、明るく安全な森林をつくります。	240万円 国 240万円 県 — 般 — 他 —
県営中山間地域総合整備事業（高原地区）		農業振興課	農業・農村の活性化を図るため、中山間地域総合整備事業を実施します。
農業経営基盤強化促進対策事業	地域の中心となる経営体や、新規就農、農地の集積に協力した農業者への支援を行います。		2,386万円 国 — 県 2,358万円 般 28万円 他 —
農業公社運営費交付事業	農地の貸し借り（農地利用集積円滑化事業）などの農業経営改善のための事業を行う農業公社に、交付金を支給します。		1,728万円 国 — 県 — 般 1,728万円 他 —
塩田ダム管理事業	農業用水を確保するために造られた塩田ダムの施設管理と、ダム周辺の公園などの維持管理を行います。		6,805万円 国 — 市 2,190万円 般 4,615万円 他 —
道の駅管理事業	「道の駅やいた」の管理・維持事業です。農産物直売所や農村レストランなどが入る「つつじの郷交流館」の維持管理を行い、利用者に質の高いサービスを提供します。		593万円 国 — 県 — 般 593万円 他 —
八方ヶ原牧場管理事業	畜産農家の労働力の軽減と、良質な繁殖牛育成を目的に設置されている八方ヶ原牧場の管理・運営を行い、畜産の振興を図ります。		467万円 国 — 県 160万円 般 215万円 他 92万円

市政に市民の意向が反映しやすい組織、仕組みをつくるとともに、市民の主體的なまちづくりへの取り組みや活動を支援します。また、市民にわかりやすくまちづくりを進めていくため、まちづくり過程の説明や情報の公開を積極的に行うとともに、成果重視の行政運営を行います。

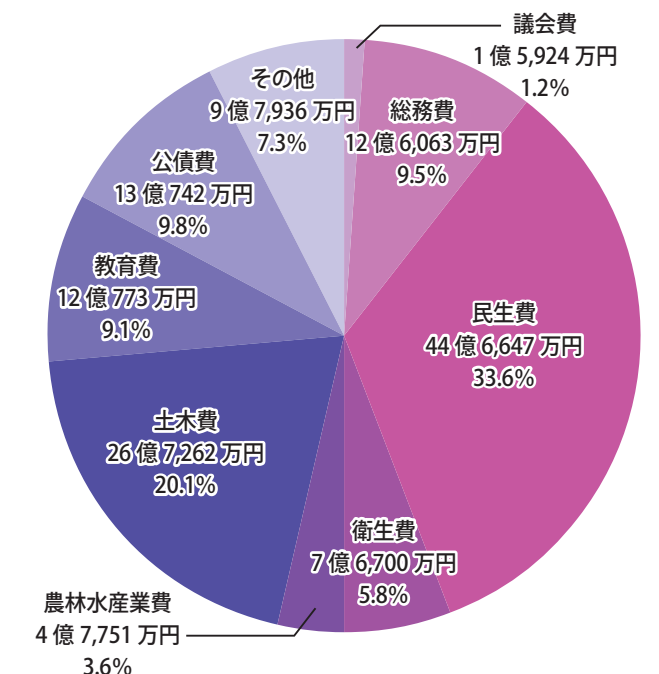
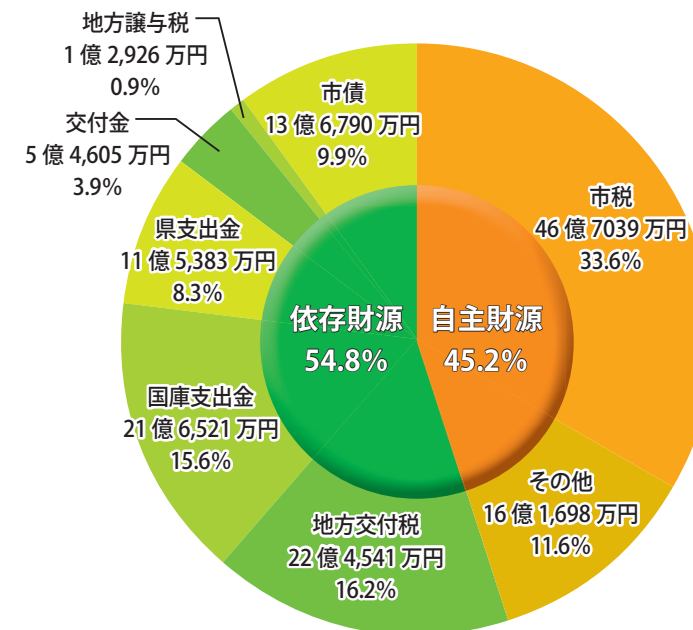
事業名	担当課	内容	事業費
行政区活動事業	総務課	行政区と連携し、民意の把握に努め、円滑な市政の推進を図ります。	1,503万円 国 - 県 - 般 1,503万円 他 -
人権対策事業	くらし安全環境課	生活の中の人権に関するさまざまな課題を理解し、また関心が深まるよう、各種啓発活動を推進します。	56万円 国 - 県 3万円 般 53万円 他 -
男女共同参画社会推進事業	生涯学習課	誰もが自分らしく生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」形成のために、広報紙発行、みんなのつどいの開催等による意識の啓発を図ります。また、女性団体、女性リーダーの育成支援を行います。	49万円 国 - 県 - 般 49万円 他 -
市民活動助成事業	総合政策課	市民団体が自発的に行う公益性の高い活動に対し、助成金を交付します。助成額：1団体上限 10 万円	50万円 国 - 県 - 般 50万円 他 -
姉妹都市交流事業	総合政策課	姉妹都市の笠間市（茨城県・昭和 55 年提携）と行っている、子ども会の社会教育活動やスポーツ活動などの交流に対して補助を行います。	20万円 国 - 県 - 般 20万円 他 -
広報やいた発行事業	秘書広報課	「広報やいた」や、「広報やいた予算特集号」を発行し、情報提供を行います。	742万円 国 - 県 - 般 592万円 他 150万円
ホームページ運営事業	秘書広報課	市のホームページ運営（モバイル版を含む）のために必要な、ソフトウェアやプリンター機器の保守などを行います。	228万円 国 - 県 - 般 210万円 他 18万円

平成 26 年度 決算状況

一般会計

歳入 138 億 9,503 万円

歳出 132 億 9,798 万円



特別会計

会計名	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療	農業集落排水
歳入	24 億 7,567 万円	40 億 7,874 万円	3 億 3,032 万円	5,531 万円
歳出	24 億 5,461 万円	39 億 228 万円	3 億 1,913 万円	5,085 万円

会計名	公共下水道事業	コロナ矢板排水処理事業	木幡宅地造成事業
歳入	7 億 9,000 万円	1,704 万円	2 億 1,619 万円
歳出	7 億 5,739 万円	1,610 万円	1 億 8,673 万円

企業会計

水道事業	収益的	資本的
収入	7 億 7,254 万円	1 億 2,837 万円
支出	6 億 6,854 万円	4 億 1,819 万円

用語解説

歳入 (自主財源)		歳入 (依存財源)	
市税	皆さんが矢板市に納める税金です。	地方交付税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。
その他	分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金などです。	国庫支出金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は決められています。
		交付金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。
		地方譲与税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。
		市債	国や金融機関などからの借入金（借金）です。
目的別歳出		性質別歳出	
議会費	議会運営や議員の議会活動などにかかる経費です。	人件費	職員の給料、議員の報酬などです。
総務費	市役所の運営や広報やいたの発行などにかかる経費です。	扶助費	児童、低所得者や高齢者などの援助をするための給付金などです。
民生費	高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費です。	補助費等	公共団体への補助金などです。
		物件費	さまざまな事業の消耗品や光熱水費、備品の購入、賃借料、委託料などです。
		繰入金	公共下水道事業特別会計や国民健康保険特別会計など、特別会計を支援するための支出です。
		その他	維持補修費、貸付金、積立金などです。
		普通建設事業費	道路、公園などの施設を整備するための工事費などです。

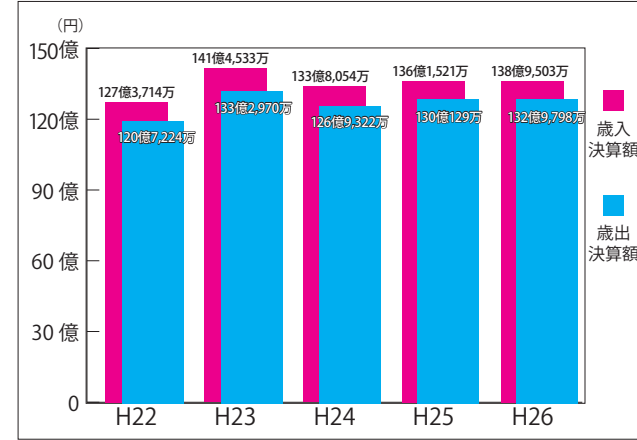
第7章 行財政基盤の安定したまちづくり

事業名	担当課	内容	事業費
議会運営事務	議会事務局	本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会および諸会議の運営、会議録の調製、行政視察の実施、請願・陳情の審査を行います。	1億2,459万円 国 - 県 - 般 1億2,459万円 他 -
政務活動事業		市政に関する調査研究のため、議会会派、または議員に対し、1人当たり月額2万円を交付します。	384万円 国 - 県 - 般 384万円 他 -
市税等賦課徴収事務	税務課	(主な内容) 市税 7,331 万円 国民健康保険 1,376 万円 介護保険 409 万円 後期高齢者医療保険 350 万円	9,466万円 国 - 県 - 般 7,692万円 他 1,774万円
職員研修事業	総務課	行政実務能力の向上や行政課題に対する問題提起能力、政策立案能力の養成などを行うために必要な職員研修を行います。	325万円 国 - 県 - 般 325万円 他 -

過去5年間の推移

決算額の推移

～対前年比は歳入 2.1%、歳出 2.3% の増加～

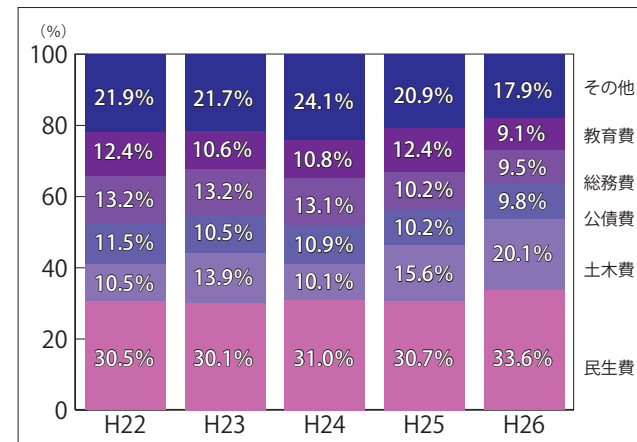


平成 26 年度は、片岡地区市街地整備事業や介護保険施設等整備補助事業などの増加により、歳入・歳出とも増加しました。

歳入は、経済対策の効果などにより市税が7年ぶりの増加となり、また、消費税率引き上げにより、地方消費税交付金が増加しました。

目的別歳出の構成比の推移

～民生費が総支出の1/3に～



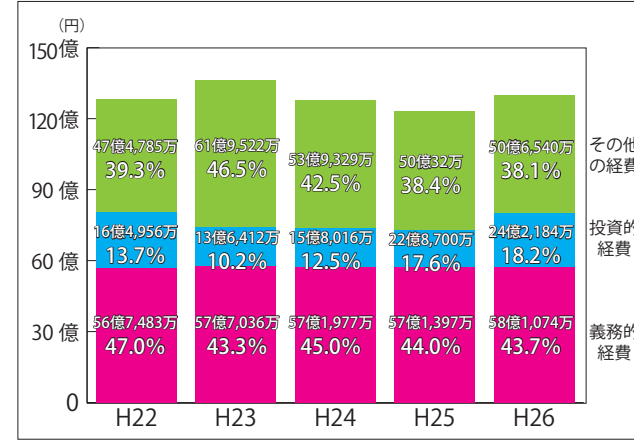
民生費は、児童福祉・老人福祉・生活福祉などの社会保障経費が引き続き増加となり、総支出のうち1/3を占めるまでになりました。

土木費は、片岡地区市街地整備事業がピークを迎えたため大幅増加となりました。

教育費は、片岡中学校武道場建設事業、矢板中学校技術棟建設事業などが完了したため、減少となりました。

性質別経費の推移

～投資的経費と社会保障経費が増加～



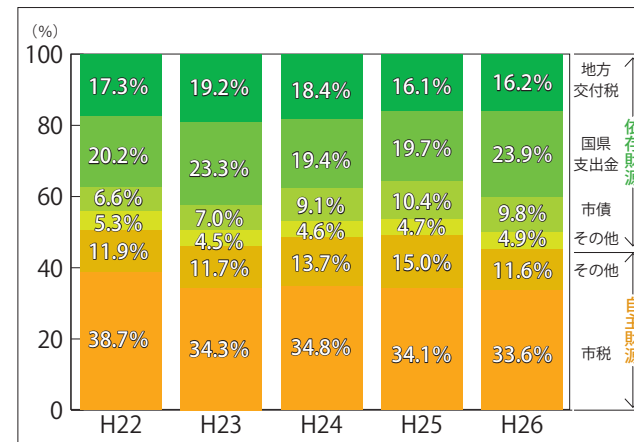
歳出は、投資的経費が引き続き増となったほか、扶助費、介護保険特別会計繰出金などの社会保障経費が年々増加しています。

※義務的経費…職員の給与等の人件費、生活保護等の扶助費及び地方債の元利償還金等の公債費です。支出が義務付けられ、任意に削減できない経費です。

※投資的経費…道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本整備に要する経費です。

財源の構成比の推移

～自主財源の割合が49.1%から45.2%に減少～



市税は、法人市民税の増加や太陽光発電設備に係る償却資産の増加により、7年ぶりに増加に転じましたが、予算規模が大きくなったため財源に占める割合は減少しました。

国県支出金は、放射線量低減対策事業や片岡中学校武道場建設事業に係る補助金は減少しましたが、片岡地区市街地整備事業に係る補助金が大きく増加しました。

自主財源は、東日本大震災復興交付金基金の繰入金が増減したことなどにより、前年度に比べ減少しました。

平成 26 年度 財政の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率と資金不足比率について

地方公共団体は、財政破たんを早期の段階で回避するために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(平成 19 年法律第 94 号) の定めにより、健全化判断比率及び資金不足比率を算定し、公表することになっています。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率からなります。

これらの比率が早期健全化基準を超過した場合、財政状況が注意水準にあると判断され、財政健全化計画を策定の上、自主的に財政健全化を図ることになります。

さらに、財政再生基準を超過した場合、財政状況が危険水準にあると判断され、財政再生計画を策定の上、国等の関与のもと財政健全化を図ることになります。

資金不足比率は、各公営企業ごとに算定されることになっていて、矢板市の場合は、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、木幡宅地造成事業特別会計及び水道事業会計が該当しています。

この比率が、経営健全化基準を超えた場合、その公営企業は経営健全化計画を策定の上、経営の健全化を図っていく必要があります。

矢板市の健全化判断比率と資金不足比率

矢板市の場合、平成 26 年度の各比率はすべて基準を下回っています。また、平成 25 年度の指標と比較しても改善していることから、健全な財政状況にあると判断できます。

今後もこれらの比率を見据えた財政運営を行い、より一層財政の健全化を図っていきたく考えています。

平成 26 年度矢板市健全化判断比率

項目	矢板市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	平成 25 年度の比率
実質赤字比率 * 1	—	13.85%	20.00%	—
実質連結赤字比率 * 2	—	18.85%	30.00%	—
実質公債費比率 * 3	11.8%	25.0%	35.0%	12.2%
将来負担比率 * 4	65.6%	350.0%	—	67.0%

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、赤字額がないため「—」で表示しています。

平成 26 年度矢板市資金不足比率 * 5

会計名	矢板市の比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	20.0%
木幡宅地造成事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

すべての会計において、資金不足額がないため「—」で表示しています。

* 1 実質赤字比率

一般会計等(矢板市の場合は、一般会計とコロナ矢板排水処理事業特別会計を合算したもの)を対象とした、実質赤字の標準財政規模* 6に対する比率。一般会計等の赤字の大きさを把握するための指標。

* 2 連結実質赤字比率

矢板市のすべての会計を対象とした、実質赤字の標準財政規模に対する比率。矢板市全体の赤字の大きさを把握するための指標。

* 3 実質公債費比率

市が借りたお金を返済するために、一般会計等から充てている金額の標準財政規模に対する比率。標準的な一般財源* 7の額のうち、借金の返済に使われた金額の比率を把握するための指標。

* 4 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の額の標準財政規模に対する比率。一般会計等が抱えている借入金等の額が、標準的な一般財源の額の何年分になるのかを把握するための指標。

* 5 資金不足比率

公営企業会計単位での資金不足額の事業規模に対する比率。公営企業として実施している事業単位で、赤字の大きさを把握するための指標。

* 6 標準財政規模

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる、経常的一般財源の規模を示すもの。

* 7 一般財源

市税、普通交付税、譲与税など、用途を特定されずに、市が自由に使うことができる財源。

比率の算出方法は、市のホームページ (<http://www.city.yaita.tochigi.jp/>) に掲載しています。

問い合わせ

担当課	電話番号	FAX 番号	担当課	電話番号	FAX 番号
総合政策課	(43) 1112	(43) 2292	都市建設課	(43) 6212	(43) 9790
秘書広報課	(43) 3764		出納室	(43) 6215	(43) 5962
総務課	(43) 1113		議会事務局	(43) 6216	(44) 1000
税務課	(43) 1115		教育総務課	(43) 6217	(43) 4432
社会福祉課	(43) 1116	(43) 5404	生涯学習課	(43) 6218	(43) 4436
高齢対策課	(43) 3896		矢板公民館	(43) 0469	(43) 2213
子ども課	(44) 3600		泉公民館	(43) 0402	
健康増進課	(43) 1118		片岡公民館	(48) 0101	
市民課	(43) 1117	(43) 5962	選挙管理委員会 監査委員事務局	(43) 6219	(43) 6130
くらし安全環境課	(43) 6755		農業委員会事務局	(43) 6220	(44) 3324
農業振興課	(43) 6210	(43) 3324	上下水道事務所	(44) 1511	(43) 9770
商工林業観光課	(43) 6211				

編集・発行／

矢板市秘書広報課

☎ 0287 (43) 3764 ☎ 0287 (43) 2292

🌐 <http://www.city.yaita.tochigi.jp/>

✉ yaita@city.yaita.tochigi.jp